

SIPクライアントソフトフォンのセットアップ

● Windows PCのSIPクライアント「X-Lite」

Windows用の多くのSIPクライアントのソフトフォンが存在しますが、その中の1つのCounterPath社の「X-Lite」を使いました。X-Liteは、画面の下に広告が表示されますが、無償で使用できます。Windows版の他にMac版もあります。次のURLからダウンロードできます。(図1)

<http://www.counterpath.com/x-lite-for-windows-download.html>

X-Liteのインストーラーをダウンロードして実行します。X-Liteのインストールは、ライセンス許諾、インストール先の指定をするだけで、特に難しいところはありません。

PCにヘッドセットを繋いでX-Liteを起動し、X-Liteの設定を行います。X-Liteの「Softphone」メニューの「Account Settings」で開く「SIP Account」ダイアログボックスの[Account]タブで図2のように設定します。

X-Liteでダイヤルをするには、図3の①に数字パッドを使ってダイヤル先の番号を指定して、②の[Call]ボタンを押して発信します。

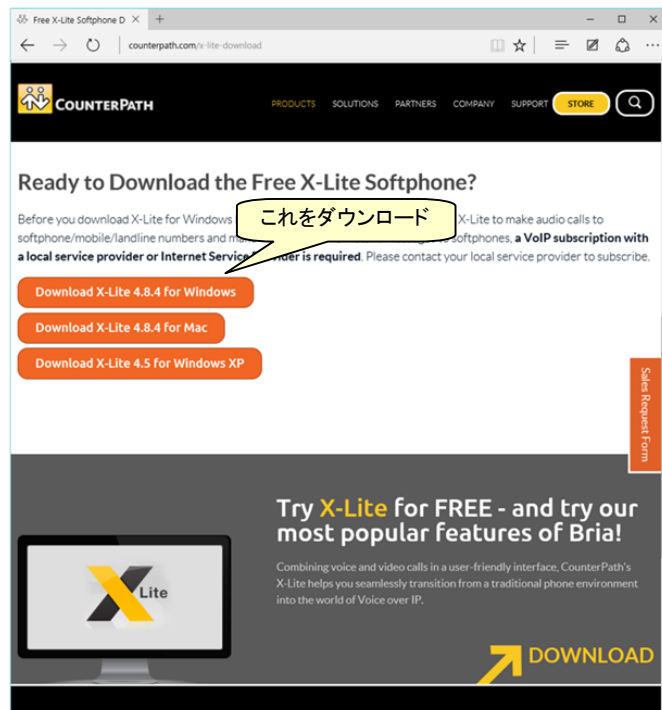


図1 X-Liteのダウンロード

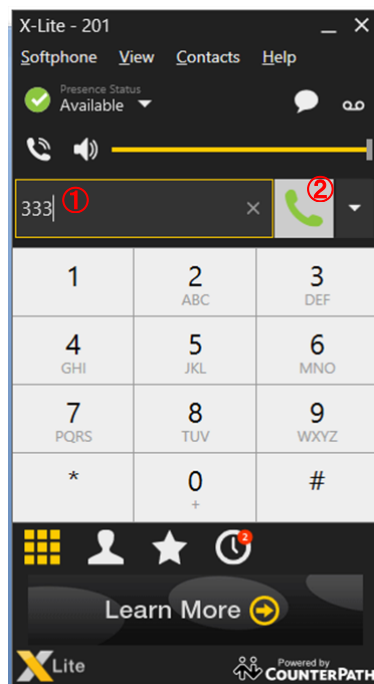


図3 X-Liteのダイヤル

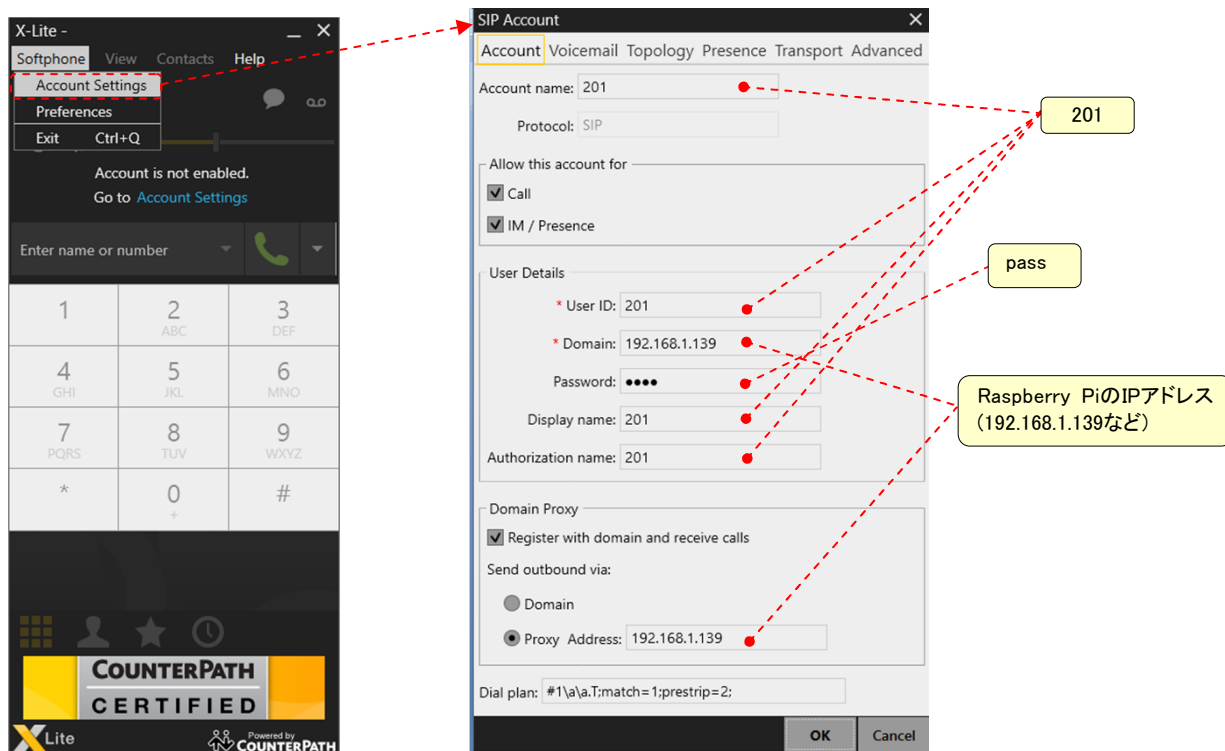


図2 X-Liteのセットアップ

● AndroidのSIPクライアント「Chiffon(シフォン)」

AndroidのSIPクライアントも多くの種類がありますが、その中のExixar Japan社の「Chiffon(シフォン)」を使いました。ChiffonはGoogle Playから無償でダウンロードできます。(図4)

Chiffonをインストールして、Chiffonのアプリアイコンをタップして起動すると、Chiffonの設定画面が開きます。そこで「SIPアカウントの設定」を指定して、図5の設定を行います。

Chiffonでダイヤルするには、図6の①で「ダイヤル」が選択されていることを確認し、②に数字パッドを使ってダイヤル先の番号を指定し、緑の受話器マーク(③)をタップすると発信になります。



図4 Google PlayのChiffon



図5 ChiffonのSIPアカウントの設定



図6 Chiffonでダイヤル

● iOSのSIPクライアント「Linphone」

iOSのSIPクライアントも、いくつもありますか、オープンソースプロジェクトで開発され、Belledonne Communications社がApp Storeに登録をしている「Linphone」を使ってみました。(図7)

LinphoneをApp Storeからダウンロードして、Linphoneのアイコンをタップして起動すると、図8「Account set assistant」が開始するので右下の[Start]をタップして、さらに「I have already a SIP account」ボタンをタップして、図9の設定をしてください。

[Sign in]ボタンをタップすると、図10のメイン画面になります。図10の①の[Settings]をタップして開く図11の画面で、Proxyを設定するとともに、Enable videoのスイッチをOFFにしておきます。

このLinphoneで電話をかけるには、図10の数字パッドで②に電話番号を入力して、図10の③にある受話器アイコンをタップします。



図7 App StoreのLinphone

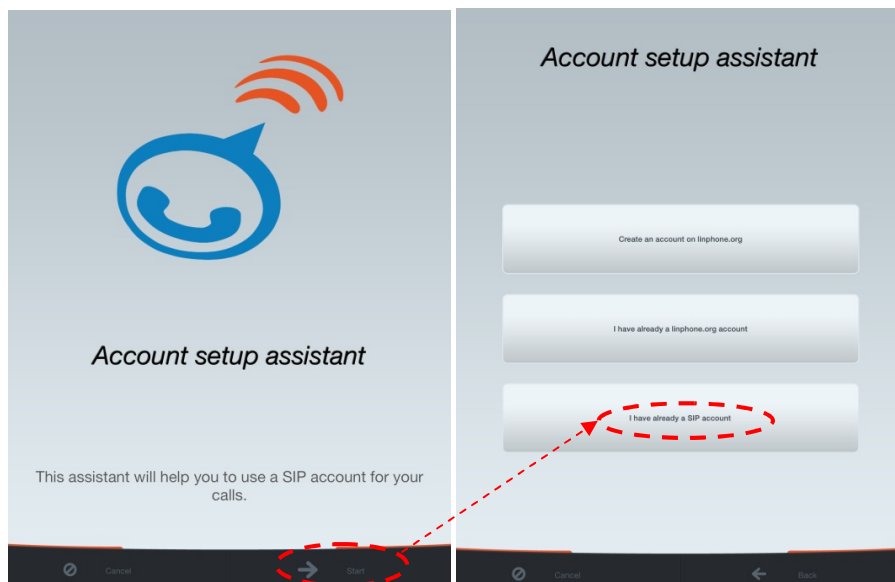


図8 Linphoneの起動

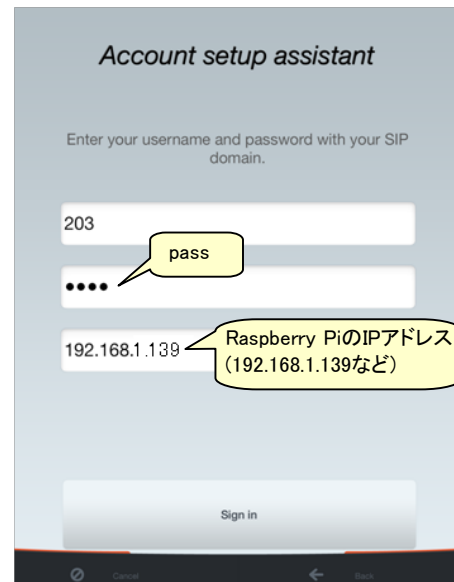


図9 Account setup assistant



図10 Linphoneのメイン画面

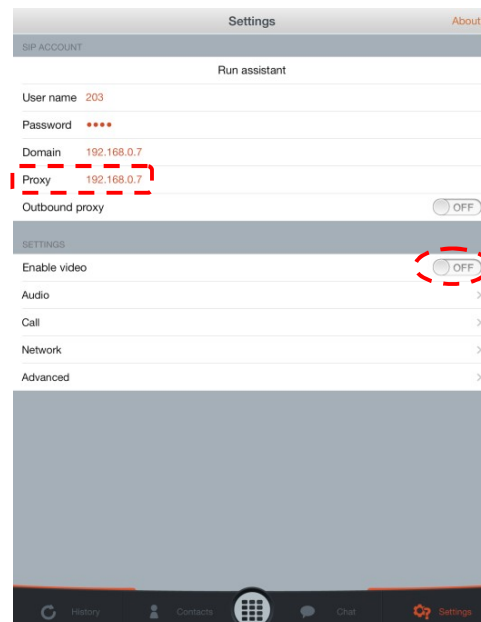


図11 LinphoneのSettings